

# 大学院特論

## 研究者のための画像処理と 施してはいけない画像処理

本講演では、画像不正を疑われないための画像処理技術を紹介する。まずは、生命科学研究における画像処理の意義を説明するとともに、アンケート調査結果を紹介する。続いて、2004年に定められた Journal of Cell Biology 誌の投稿規程を始め、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 及びエルピクセル株式会社により作成された画像処理規範について紹介する。最後に、不正な画像処理が施された画像の検出をサポートするためのソフトウェアについて解説する。研究者個人あるいは研究機関組織として取り組むべき画像処理手法および避けるべき画像処理手法に対する理解を目指す。

下記に当てはまる方必見！

どこまで画像処理を  
施せばよいのか不安

画像処理を体系的に  
習得したことがない

画像不正と疑われ  
たくない

2019 **10/2** 水  
17:00~18:30

会場

名古屋大学鶴舞キャンパス  
基礎研究棟 4階第3講義室

演者

エルピクセル(株) 共同創業者 元日本学術振興会特別研究員  
湖城 恵

連絡先

神経遺伝情報学 大野欽司 (秘書内線2447)  
Kinji Ohno, Neurogenetics (ext.2447 for secretary)



事前のお申し込みは不要ですので直接会場にお越し下さい。



LPIXEL

エルピクセル株式会社

エルピクセル株式会社 TEL:03-6259-1713 Mail:contact@lpxel.net  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル6階